

概要

人材力活性化研究会の構成員や大学講師等を招へいた講義のほか、参加者が自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催。

東日本支部においては、平成25年4月以降、3か月毎に開催され、20回となった。また、西日本においてはこれまで四国、中国、関西地区において、それぞれテーマを設定して不定期に開催されている。さらに、平成28年度、平成29年度の地方開催を機に、東北、九州での自主研修が、それぞれスタート。

開催状況

年度	日時	場所	テーマ
東日本支部	25 平成25年4月17日、7月19日、10月3日、平成26年1月29日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇(市)
	26 平成26年4月23日 平成26年7月9日 平成26年10月8日 平成27年1月7日	長池公園自然館	あったらいいな、こんな〇〇(市)
		地域活性化センター	あったらいいな、こんな〇〇(市)
		地域活性化センター	よりよい“コーディネーター”とは？
		地域活性化センター	人財塾での行動宣言の実践状況の報告、抱負
	27 平成27年4月15日 平成27年7月29日 平成27年10月21日 平成28年1月21日	地域活性化センター	今、これから
		長池公園自然館	指定管理者制度の10年を検証する
		ルネこだいら	“みんなが集まる場”とは？
		フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ	地域とかかわる“楽しさ”と“難しさ”
	28 平成28年4月28日 平成28年7月28日 平成28年11月7日 平成29年1月20日	千葉市生涯学習センター	地域の未来イメージをつくる～千葉市の新たな取り組みをケースに～
		山武市ふれあいセンター	図書館が発信する山武市の魅力！
		首都大学東京	学生との交流で、新たな創発を！
		地域活性化センター	人財力とは何か・・・いま再び考える
		29 平成29年4月13日 平成29年7月19日 平成29年10月17日 平成30年1月15日	長池公園自然館
	白鷗大学東キャンパス	市民協働とは何かを考える	
移住・交流情報ガーデン	持続可能な移住交流とは？		
首都大学東京	若者政策を考える		
西日本支部	25 平成26年2月23日～25日	松山市ほか	移住対策
	26 平成26年10月11日～12日	周南市	若手による地域づくり
	27 平成27年9月26日～27日	河内長野市	開催地における地域づくり(中山間地の活動拠点整備・運用、地区まちづくり会の活動)
29 平成29年8月5日～6日	西予市		
仙台	28 平成28年8月2日	仙台国際センター	地域と関わる中であなたが大切にしたいことは？
宮崎	29 平成30年1月27日	三股町まち・ひと・しごと情報交流センター	地域住民に喜ばれる公園とは、人の交流の起点になる公園活用方法

「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修②

全国地域づくり人財塾 東日本支部

1. 概要

人材力活性化研究会の構成員や大学講師を招聘した講義のほか、参加者から自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催。

2. 開催状況

平成24年度の人財塾@市町村アカデミーの受講生が中心となって企画・開催。平成25年4月以降、3か月毎に開催。平日開催だが、人財塾の未受講生を含め、東京ほか近隣県の市町村職員を中心に1回あたり20名程度の参加。第18回は東京圏以外で初めて開催。

【平成29年度(第1回研究会以降)の開催状況】

(第18回) 7月19日会場: 白鳳大学

主なテーマ: 市民協働とは何かを考える
参加者数 : 15名

(第19回) 10月17日会場: 移住・交流ガーデン

主なテーマ: 関東圏の移住を考える
参加者数 : 16名

(第20回) 1月15日会場: 首都大学東京

主なテーマ: 若者参加
参加者数 : 22名

全国地域づくり人財塾・九州フォローアップ セミナー(宮崎県三股町)

1. 概要

平成29年度の全国地域づくり人財塾in福岡を受講した笠島氏が課外活動で他のフォローアップ研修事例を聞き、開催を宣言。富永講師、東日本支部を主催する神山氏、事務局と相談しながら宮崎県三股町で企画・実施した九州地区初めてのフォローアップ研修。

2. 開催状況

in福岡や過年度の修了生8名のほか、宮崎、鹿児島、熊本から21名が参加。地元「椎八重公園」の活性化をテーマに、フィールドワーク、グループワークを実施。グループワークでは、宮崎産業経営大学の出山准教授をコーディネーターに住民に使われる公園づくりの検討を行った。

主なテーマ: 地域活性に活かせる公園活用
参加者数 : 21名

